

2024 年度第 2 回 N P O 法人共同保存図書館・多摩理事会 議事録

1 日 時：2024 年 4 月 13 日（日） 午後 8 時 00 分から 9 時 30 分

2 方 法：ZOOM アプリを媒介にしての遠隔会議

3 議決権のある理事：9 名

出席者：座間直壯、雨谷逸枝、清田義昭、田中ヒロ、中川恭一、堀 渡

欠席者：小池信彦、齊藤誠一、保坂一房

4 議事

(1) 第 1 号議案 2024 年度通常総会議案書の協議【説明・協議】

< 1 > 第三号議案 2024 年度事業計画について

【事務局説明】

- ・前回、基本方針の案文が、趣旨はいいが長過ぎるとの指摘だったので書き直し再提案する。特に、これまでの経過の部分を短く書き換え、枠内に収めて分かりやすいようにした。
- ・また総会記念講演会の受講方法について、来場する以外に、来場できない会員に ZOOM で視聴できるようにするか、ZOOM で会員外の方にも公開するかという議論があつて検討した。
- ・ZOOM の活用は技術的には可能だが、総会運営スタッフが限られているため、今回は利用しない。ただし、これまでも行っていたことだが、会員外の方も当日会場に来れば、無料で講演会に参加できる。チラシ等にはそのことも書いて P R する。記録のため、講演の動画撮影は行っておく。

【協議】

- ・基本方針はわかりやすくなった。これで確定していい。
- ・講演の会場外視聴は、今後そのような方法で講演会を開催する可能性はあるが、総会記念講演会としては従来通りでよいのではないか。

< 2 > 第二号議案 2023 年度決算報告について【説明・協議】

【説明】

①収益について

- ・受取会費は、正会員 390,000 円。賛助会員 102,000 円だった。正会員は連絡がつかない方を除けばかなり高い納入率。賛助会員は複数口納入の方が多数。
- ・寄付金は、何件か多額の寄付があり予算を越える実績になった。
- ・事業収益は、ライブラリアン講座の受講費。
- ・「印刷物の発行等による普及啓発事業の収益」は、多摩デポブックレット売上のこと。昨年度末発行の No. 16 の他、バックナンバーも少しずつ販売できた。
- ・雑収益として、以前寄付していただいてあつた切手を 5,044 円分使わせてもらった。

②支出について

- ・「その他の経費」は、大きく予算超過したが、すべてライブラリアン講座関係。会員外の講師と、講座事務をしてくれた方に謝金を払った。

- ・会議費は Zoom の年間契約料を、事業費と管理費で按分した。
- ・旅費、交通費は、主に「里親事業」の図書を希望する図書館に届ける交通費。
- ・通信運搬費は、総会資料や『通信』、ライブラリアン講座通知等の発送費用。
- ・事務所の地代・家賃は月 3 万円で年間 36 万円だが、事業費 2、管理費 1 の割合で、按分。
- ・会議費、印刷製本費には、総会議案書の外注印刷代も含む。
- ・水道光熱費の上昇を見込んだ予算を計上したが、節約できた。
- ・支払手数料は、ゆうちょ銀行振込口座の使用料。だいたい一件 152 円かかり、その積上で 11,690 円の支出。
- ・以上 249,386 円が、管理費の支出額になる。
- ・次期繰越財産額は 22,000 円ほど減った。

### ③貸借対照表について

- ・活動資産の刊行物在庫とは、ブックレット第 1 号から第 16 号までの現物在庫。売れば 839,471 円になるブックレットの現物が在庫であるということ。正味財産の合計が 2,461,799 円。そのかなりの部分はこの刊行物在庫。
- ・負債の部の刊行物在庫見返とは、以前は計上していなかった現物在庫貯蔵品を複式簿記に変更した時に計上することにしたもの。

### 【協議】

- ・提案通り、了承した。

## < 3 > 第四号議案 2024 年度活動予算について【説明・協議】

### 【説明】

#### ①収益について

- ・経常収益では、正会員 4 人の増による収入を見込んでいる。賛助会員の受取会費は、今年度同様 2 口出していただけの方があることと見込んだ。
- ・寄付金は、今年度の実績に近い額を計上した。
- ・事業収益では、「ライブラリアン講座」受講料を 6,000 円にした。通常のデポ講座で、参加者から資料代を徴収することを見込んだ。
- ・印刷物の発行等による普及啓発事業の収益では、多摩デポブックレットを一冊作ることを計画。制作経費はかかるが収益も見込んでいる。

#### ②支出について

- ・ライブラリアン講座を続けて行うこと、多摩デポ講座も『通信』を発行するたびに見学会等を行う計画にしたので、それを裏付ける予算を立てた。
- ・事業費の経常費用では、ライブラリアン講座の支出合計を 115,000 円で抑えることにしている。
- ・刊行物印刷製本費は、ブックレットを一冊製作する予定で、幾分多めに計上した。
- ・通信運搬費は、郵便料も宅配料も上がるということで、1 割増しで計上した。
- ・支払手数料も値上げを見込んだ額にした。
- ・管理費は、ぎりぎりまで切り詰めた。

- ・経常収益は 1,009,010 円で、一見、余りが出るかに見えるが法人住民税を支出するので、残りは 810 円。2,462,609 円が次期繰越正味財産額ということで提案する。

【協議】

- ・特になし。了承した。

(2) 第 2 号議案 総会までの日程について【説明・協議】

【説明】

- ・本日の理事会で第三号議案の修正は了承され、会計関係の第二号、第四号議案も承認されたので、明日には議案書の確定原稿が揃う。
- ・議案書だけは外注で印刷する。会計監査の後、総会招請状、書面表決票、同時に送る『多摩デポ通信』や講演会チラシ等の印刷、封入、発送を行う。連休前には会員に送付物が届き、読んでいただいて、書面表決票を締切前に提出してもらおう算段で、日程を立てている。
- ・また、3 年前から、会員に議案書が届いて読めるタイミングを見計らい、ZOOM による意見交換会を始めた。総会提案の説明を聞き、納得した上で判断していただき、総会前に書面表決票を提出してもらおう取り組み。これを始めてから、総会成立のための提出依頼に動くことをあまりしないで済んでいるという状況がある。
- ・今回は 5 月 10 日を書面表決票の提出締切に設定し、提出数が足りなければその後にメールその他で提出依頼が行えるよう、以下の日程を考えている。
  - ・ 4 月 13 日 本日理事会 第 3 号議案、第 2 号・第 4 号議案確定
  - ・ 4 月 16 日 議案書外注印刷受取り
  - ・ 4 月 19 日 会計監査
  - ・ 4 月 21 日 議案書以外の印刷、議案書含めて、封入・発送作業
  - ・ 4 月 26 日 事務局会議・・・24 年度講座等事業の打合せ
  - ・ 5 月 6 日 19 時 30 分～ ZOOM による意見交換会
  - ・ 5 月 10 日 書面評決票の提出〆切
  - ・ 5 月 18 日 14 時～ 通常総会

【協議】

- ・事務局の提案を了承した。

(3) 情報交換その他

【情報交換】

特になし

【今後の予定】

- ★事務局会議(2024 年度第 3 回) 4 月 26 日 (火) 午後 8 時より、(ZOOM 会議)

★カーリルとの共同研究 定例会 月 日 ( ) 午後 8 時より、(ZOOM 会議)

★次回理事会 第 3 回理事会 5 月 21 日 (火) 午後 8 時より、(ZOOM 会議)

#### 5 議事録署名人の選任

議事録署名人として 2 名を選任することを諮り、中川理事、堀理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2024 年 4 月 13 日

議長 座間直壮

議事録署名人 中川恭一

議事録署名人 堀 渡